

2月12日(木)「4年 こども相撲甚句披露 ~相撲館「けはや座」訪問~」

2月12日(木)、4年生が校区内の相撲館を訪問し、葛城相撲甚句会のみなさんと一緒に相撲甚句を披露しました。4年生全員で言葉を紡ぎ出した「當麻小学校百五十周年記念 こども相撲甚句」の披露です。「明治にできた當麻小 百と五十年の道のりを つないでいこう これからも」「あーどすこい、どすこい!」という威勢の良い掛け声とともに、二上山や當麻寺、そして自分たちの学校への愛着を込めた歌詞が館内に響き渡りました。自分たちで作った歌を、相撲甚句会の皆様と一緒に歌う子供たちの表情は、まさに「みんなが主役」の輝きに満ちていました。

自作の甚句を披露した後は、甚句会のみなさんから「葛城名所」の甚句を教えていただきました。最後に土俵上での「塩まき」も体験させていただきました。真っ白な塩を高くまいていました。これらの体験を通して、子どもたちは相撲の持つ歴史の重みを感じ取ったようでした。

※この様子は奈良テレビでも放映されました。

